

横浜型小中一貫教育

中川中ブロック

中川中 中川小 南山田小 牛久保小

平成24年度より、横浜市立小・中学校では、全142ブロックで、「横浜型小中一貫教育」が全面的にスタートしました。「横浜型小中一貫教育」とは、小中学校教職員が情報交換や連携して、義務教育9年間の連続性を図った小中一貫カリキュラムに基づく教育活動を推進することです。子どもたちの学力の向上や児童生徒指導上の課題の解消を目指します。

中川中ブロックの一貫教育について、紹介します。

中川中ブロック小中一貫教育推進ブロックテーマ

- ① 地域の特性および児童生徒の実態を踏まえた計画的系統的な教育活動の推進。
- ② 一人ひとりの児童生徒理解に基づく個に応じた指導体制作り。

4校合同の授業研究会

教職員が「学力観」「指導観」「評価観」を共感し、授業改善をすることを通して、子どもたちの学力の向上を図っていきます。

今年度は6月に合同授業研究会を行い、授業を通して教科指導、評価について話し合いをしました。

小中一貫職員交流

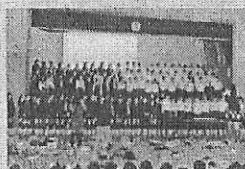
教科・領域での話し合いの中で、各校の学校経営などを参考にしながら、「どのような子どもを育てていくか」について意見交換をしました。今年度は8月と1月に行います。



中川中ブロック小中一貫教育の取組を紹介します。

児童生徒交流

6年生が中川中学校の文化見学したり、中学校の生徒会役員クイズ形式で中学校の生活を紹介したりしました。今年度は各校の代表児童・生徒が集い、中川ブロックのスローガンを検討しました。



部活動オリエンテーション

夏休み明け、6年生の希望者が中川中学校の部活動オリエンテーションへ行きました。実技をまじえた、様々な部活動の紹介を聞き、自分の中学校生活への思いを膨らませていました。

